

平成 26 年度 議会報告会 開催結果

1 開催日・会場

1 日目 平成 26 年 11 月 4 日 (火) 14:00~15:10 芦屋浜管理センター小会議室

出席議員 (寺前尊文、いとうまい、青山 暁、松木義昭、徳田直彦、森しずか)

2 日目 平成 26 年 11 月 6 日 (木) 19:30~20:41 保健福祉センター会議室 1

出席議員 (長谷基弘、山口みさえ、都筑省三、平野貞雄、重村啓二郎、中島かおり、田原俊彦)

3 日目 平成 26 年 11 月 8 日 (土) 14:00~15:31 市民センター 203 室

出席議員 (前田辰一、徳重光彦、福井美奈子、長野良三、木野下 章、畑中俊彦、帰山和也)

* 中島健一議長はすべての報告会に出席

2 参加人数

全体の参加人数 23 人 (11 月 4 日…8 人 11 月 6 日…6 人 11 月 8 日…9 人)

3 当日の内容

- (1) 開会の挨拶 (議長)
- (2) 議員から報告
 - ・議会基本条例について
 - ・平成 25 年度芦屋市決算について
- (3) 質疑応答 (意見交換)
- (4) 閉会の挨拶

4 主な質疑応答

Q 高浜町で計画している市営住宅の大規模集約事業について、どういう背景から集約することになったのか。分散したほうが良いと思うが。

A 市営住宅等ストック総合活用計画には 1 か所にまとめる計画はなかった。しかし、現地建て替えは、引っ越し費用など二重投資になる。市の財政問題とも関係しており、P F I にすることでコストが削減できるというのが市の説明である。

(用語解説) P F I (プライベート・ファイナンス・イニシアティブ) とは、公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図る手法のこと。

Q 政務活動費について、書類や伝票のチェックシステムについてはどうなっているのか。

A 平成 25 年度に政務調査費から政務活動費に変わった。以前から透明性の確保に努めてきたが、平成 25 年度にマニュアルを作成したので、ホームページ等でご覧になってほしい。書類や伝票は会派の他に市議会事務局でも半年毎にチェックをしており、資料は閲覧請求すればいつでも見ることができる。

Q 市議会は自主的に議会改革をしているのか、外圧で議会改革をしているのか。

A 議員は市民の代表なので、それぞれの市民の声を受けて活動する。市民の声を聞く、これが本来の活動であると考えている。議員が一人で考えたことをやっているのではない。

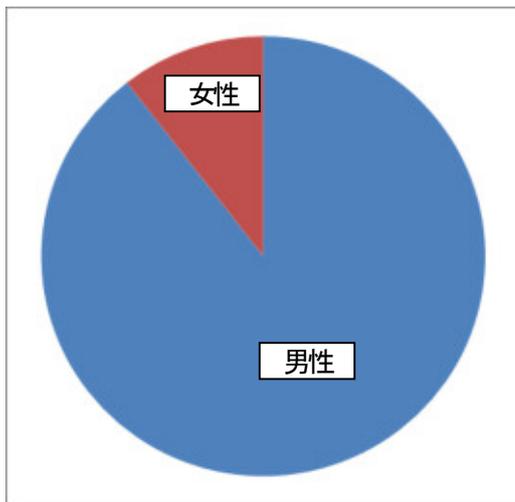
Q 芦屋市の10年後、20年後を考えた場合、税収も減り、高齢化も進むと思うが、神戸市、西宮市に挟まれて今後立ちいくのか。行政の主導ではなく議会の方でビジョンをつくる必要があると思うが、考えはあるのか。

A これまでも議会から色々と政策提言はしているが、芦屋市を阪神間の中でどのように活かしていくのかということ議会でも検討していかなければならないと考える。

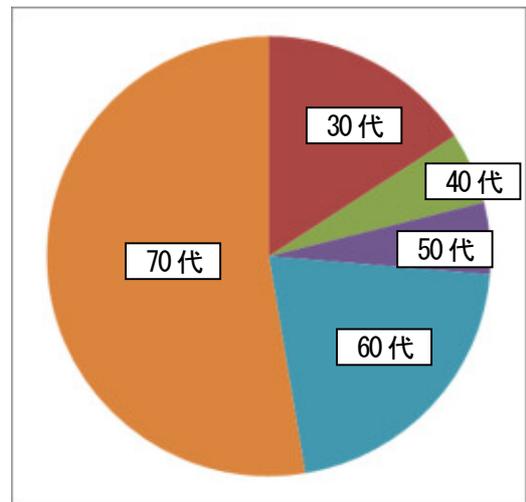
5 アンケートの集計結果

アンケート回答人数 19人 (回答率82.6%)

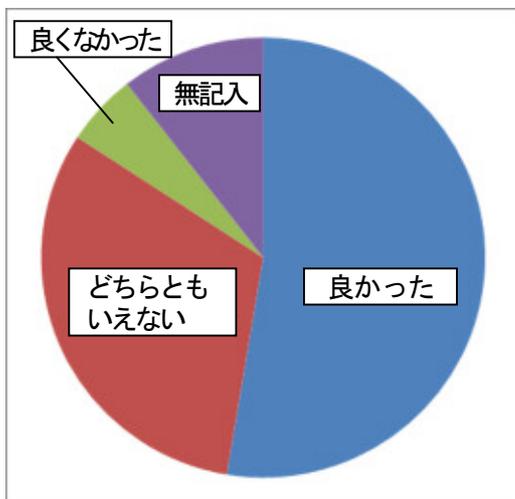
性別



年齢



内容はどうでしたか。



説明は分かりやすかったですか。

